

今後、長期化する恐れのある応急仮設住宅の生活においては、各団地において入居者が抱える課題等の情報集約を図り、自ら主体的に課題の解決を図っていくことが必要であり、入居者の孤立化等を防止する観点からも、自治会組織の立ちあげを急ぐことが重要である。

こうした観点から、自治会の設立状況について、被災県に対して定期的な報告をいただいているところ。

## 被災3県における自治会設立状況（11月29日時点）

### 1. 概要

- ・建設中や住民が少数など、一部の団地を除き、自治会が設立が進んでいる状況。
- ・設立済みの団地数は全体の約76%となっている。
- ・設立準備中の団地においても、自治体職員やNPOなどが団地に出向き、自治会の必要性などを説明する会を開催するなど、自治会の立ち上げを促している。
- ・しかしながら、一部の団地においては、住民の意向調査により自治会を不要とする意見が多数であるなど、そこに入居する住民の意見により自治会を立ち上げない事例もある。

### 2. 被災3県ごとの設立状況（地域の自治会への組み込みも含む）

- ・岩手県 71.1%（前回PT開催時 66.3%）
- ・宮城県 77.6%（" 63.7%）
- ・福島県 83.0%（" 79.2%）

※（参考）阪神・淡路大震災の時の自治会設立状況：63.1%（「阪神・淡路大震災に係る応急仮設住宅の記録（兵庫県）」より）

### 3. 【設立準備中】の具体的な状況

- ・自治会設立に向け自治体と住民で、自治会設立の説明会を開催している。
- ・準備委員会を設置し、準備委員が設立に向けて動いている。
- ・順次入居を行っているところであり、後日、入居者による集会を開催する予定。
- ・説明会を開催したが、自治会設立の理解が得られなかったため、再度説明会を開催する予定。

### 4. 【自治会未設置】の主な理由

- ・住民に自治会設立の意向調査などを行ったところ、自治会不要とする意見が多数（岩手県釜石市、宮城県気仙沼市）
- ・入居戸数が少数であるため（岩手県釜石市）

# 応急仮設住宅における自治会の設立状況

平成23年11月29日現在

	岩手県		宮城県		福島県		計		自治会設置率
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
設立済み	183	58.1%	215	54.0%	145	79.7%	543	60.7%	<u>76.4%</u>
地域の自治会へ組み込む	41	13.0%	94	23.6%	6	3.3%	141	15.8%	
設立準備中	86	27.3%	88	22.1%	31	17.0%	205	22.9%	
未設置	5	1.6%	1	0.3%	0	0.0%	6	0.7%	
<b>小計</b>	<b>315</b>	<b>100.0%</b>	<b>398</b>	<b>100.0%</b>	<b>182</b>	<b>100.0%</b>	<b>895</b>	<b>100.0%</b>	
建設中又は未入居	4		7		4		15		
<b>合計</b>	<b>319</b>		<b>405</b>		<b>186</b>		<b>910</b>		
(参考)全団地数	319		400		173		892		